



な  
ぎ  
ちょう  
**奈 義 町**

6月議会

# 議会だより

## 緑美しい田園風景

155号

令和2年8月1日発行

発行 奈義町議会  
編集 議会広報委員会  
〒708-1392  
岡山県勝田郡奈義町  
豊沢306-1  
☎(0868) 36-4191

### 【おもな内容】

- 6月議会で決まったこと、臨時議会報告 ..... 2～3ページ
- 一般質問（6名）、特別委員会報告 ..... 4～9ページ
- 常任委員会報告、編集後記 ..... 10ページ

# ウイルス対策と こども園

令和2年奈義町議会第2回定例会提出議案

種別	付 議 案 件	結 果
条 例	奈義町立こども園に関する条例	原案可決 (賛成 7、反対 2) 賛成討論：小阪、岡(立)、鷹取、定森 反対討論：森藤、上原
	奈義町犯罪被害者等支援条例の一部を改正する条例	原案可決 (全員一致)
	地方活力向上地域等特定業務施設整備計画に伴う固定資産税の特例に関する条例の一部を改正する条例	"
	奈義町後期高齢者医療に関する条例の一部を改正する条例	"
	奈義町国民健康保険条例の一部を改正する条例	"
	奈義町やすらぎ福祉年金等支給条例の一部を改正する条例	"
補正 予算	令和2年度奈義町一般会計補正予算（第3号）	"
	令和2年度奈義町一般会計補正予算（第4号）	"
	令和2年度奈義町国民健康保険特別会計補正予算（第1号）	"
契 約	こども園整備事業に係る土地売買契約の締結について	原案可決 (賛成 8、反対 1) 賛成討論：中井 反対討論：森藤
	こども園整備事業に係る土地売買契約の締結について	原案可決 (賛成 8、反対 1)
報告	令和元年度奈義町一般会計繰越明許費の報告について	(報告のみ)
同意	奈義町教育委員会委員の任命につき同意を求めることについて	同 意 (全員一致) 今井映江 氏 (久常)
その 他	岡山県市町村総合事務組合の共同処理する事務の変更及び組合を組織する地方公共団体数の減少並びに組合規約の変更について	原案可決 (全員一致)
	所管事務等の調査について	"

※ 6月9日午前は欠席議員1名

6月定例議会は6月9日から19日まで11日間行われ条例6件、補正予算3件、契約2件、報告1件、同意1件、その他2件、計15件を審議し決定。6名の議員が一般質問を行いました。

## 《補正予算》

会 計		補正額（万円）	予算総額（万円）
一 般	3号	19,500	551,500
	4号	15,600	567,100
国 民 健 康 保 険 特 別	1号	150	69,950

## 6月 定例議会

令和2年  
6月9日～19日

# 新型コロナ 認定

## 『条例』

### ○奈義町立こども園に関する条例

奈義町に設置することども園について、類型と位置を定めるもの。

類型は、幼保連携型の認定こども園とする。

位置は、中央広場南、代表地番・奈義町豊沢514番地1とする。

## 臨時議会報告

○ 5月15日、第2回臨時議会が開かれた。

### ○一般会計補正予算 歳入歳出額

7億50000万円追加

歳入歳出総額

53億2000万円

### 【歳入の主なもの】

・財政調整基金繰入金

6053万円

### 【歳出の主なもの】

・新型コロナウイルス感染症対策費

1億3686万円

主に新型コロナウイルス感染症に対応するための予算。

### ○奈義町たすけあい貸付金条例

災害などにより経済情勢が悪化した際に、生活が困窮する市民に対しても無

利子・無担保で生活資金を貸し付けるもの。

### ○奈義町課・室設置条例の一部を改正する条例

○こども園整備事業に係る土地売買契約の締結について

認定こども園建設用地の取得について、地権者の同意が得られたため、契約するもの。  
(関連記事9頁)

## 『契約』

### ○一般会計補正予算(第4号)

新規12事業、追加拡充8事業を予定。

### 新型コロナウイルス対策の予算。

新たに各課の担当者らで構成される「新型コロナウイルス感染症対策推進室」を設置するもの。各課に寄せられる意見を一か所に持ち寄ることで、議論を一本化することが可能になり、今後の対応を円滑なものにする。

## 令和2年奈義町議会第2回臨時会提出議案

種別	付 議 案 件	結 果
条 例	奈義町たすけあい貸付金条例	原案可決（全員一致）
	奈義町課・室設置条例の一部を改正する条例	"
	奈義町税条例の一部を改正する条例	"
	奈義町育英金貸与条例の一部を改正する条例	"
補 正 予 算	令和2年度奈義町一般会計補正予算（第2号）	"
	令和2年度奈義町上水道事業会計補正予算（第1号）	"
報 告	専決処分の承認について（なぎ放課後児童クラブ設置条例の一部を改正する条例）	承認（全員一致）

# ⑥議員が一般質問

Q 新型コロナウイルス感染症  
対策は大丈夫か



岡部 英生 議員

A 悪い事態も想定し、備える

質問 新型コロナウイルス感染症対策をめぐり、地方自治体による独自の施策や情報発信に差がある。特に首長のリーダーシップに注目と期待が集まっている。

第2波、第3波の感染拡大が懸念されており、対策の見直し、情報発信の充実、業務継続計画の見直しが必要と考えるが。

答弁 町長

Q 事業の見直しと財政見通しについて  
A 借金はしない  
財政調整基金を活用する

町では、感染症対策本部を立ち上げ、役場内での横断

地域経済活性化対策給付金の支給（1人5000円）、第2弾として、事業者応援給付金事業をはじめ、多くの支援策を実施している。

危機管理については、第2波、第3波と感染の勢いが続くのか先行き不透明であるが、町民皆さんの生命、財産を守るという理念のもとに、悪い事態も想定をして、それに備えることが必要であると考える。

質問 新型コロナウイルス感染症により、小学校、中学校が休校となり、児童・生徒への学習の遅れなど教育現場への影響はどうか。

Q 児童・生徒の学習の遅れは

A 学習時間をしつかり確保する

答弁 教育長

体育祭、運動会については、行事を通して望ましい人間関係をつくり、主体的、自発的な活動を実践する態度を育てる、また、子どもたちに達成感を味わわせるなど、大きな教育的意義を持っているので、種目、運営方法等を検討して、安全な形で実施したいと考えている。

※その他、災害対策について質問した。

的な情報共有を徹底し、市民へは無線放送や全戸に注意喚起のビラの配布を行った。感染症予防のための手洗い、マスクの着用、外出の自粛等、国や県の情報発信に努めている。

経済対策は、第1弾として全町民を対象とした緊急地域経済活性化対策給付金の支給（1人5000円）、

第2弾として、事業者応援給付金事業をはじめ、多くの支援策を実施している。

危機管理については、第2波、第3波と感染の勢いが続くのか先行き不透明であるが、町民皆さんの生命、財産を守るという理念のもとに、悪い事態も想定をして、それに備えることが必要であると考える。

質問 新型コロナウイルス感染症対策で、町の財政が厳しさを増す中、令和2年度事業の見直しと今後の財政見通しは大丈夫か。

答弁 町長

感染症対策に2億円減少した場合でも、中学校建設に係る借り入れの将来負担額の合計よりも基金等の財源の合計が多い状況は維持できる。

今後も状況の変化に応じ、健全な財政運営に努める。

着度をしっかりと確認することを中心授業を進めている。夏休みについては、終業式を予定より3日間遅らせ、1学期の学習の定着を図る。また、第2波、第3波の襲来ということも予想されるので、2学期の始業式を3日早める。

さらに今後、これら時間のみにとらわれることなく、子どもたちの実態を把握しながら、奈義町の小・中1校という有利な点を活かしていく。



## Q 公約は実現可能か

## A 猥意努力しながらすすめる

上原 伸介 議員

**質問** 町長が掲げている公約59項目の全てが、町民の納得の上で実現できたならば、魅力的な町になると思う。しかし、これまでの人口動向や財政シミュレーションをみると実現困難な道に思える。全公約を残りの期間で実現することができるのか。

**答弁 町長** 政治信条である「心をつなぐ」、「みえる、きける、わかる町づくり」をもとに、人口維持を目指してきた。また、現在は新型コロナウイルス感染症対策に取り組んでいる。

コロナ終息を見据え、まちづくり総合計画や行財政改革大綱等により財政運営を考えつつ、町民の意見を反映させながら、残り2年半の任期で公約が実現できるよう、緻意努力していく。

**質問** コロナによる事業停滞期もあり、今後の進捗度合いには不安が残る。仮に残りの期間で公約実現を成そうとする場合、大きく3つの問題に直面することになる。

口動向や財政シミュレーションをみると実現困難な道に思える。全公約を残りの期間で実現することができるのか。

**質問** これら予想される問題を、どのような姿勢で解決していくつもりか。

**答弁 町長** たくさんの事業を同時に進めていくことは、大変難しいことだと認識している。その上で、町民の意見を聞きながら、優先順位をつけて取り組んでいく。

町職員も町民の喜ぶ姿が仕事の励みになると思う。まちづくりの基本は、「暮らしやすい町」にしていくことだと考えている。

まちづくりの基本を職員がしっかりと認識して協働しながら進める、また次世代にもこれを伝えていくことが大切だと考える。

①町民の理解を得ながら進めていく時間が残されているのか。

②町職員の身体的負担や精神的圧迫につながる恐れはないか。

③政策の内容が希薄化する危険はないか。



多様化する価値観に揺るがぬ町を

## Q

アフターコロナへの対応は応していく

**A** 柔軟な姿勢で対応していく

**質問** 現在も猛威を奮っている新型コロナウイルス感染症の影響で、これまで特に観光を生業とする分野に甚大な被害が生じている。これを受け、徐々にではあるが、世界各地で新たな価値観が生まれはじめている。具体的には、宅配食の活況や通信アプリを利用した会議、また遠隔で食事を楽しむ傾向も現ってきた。

この流れを受けて、自由や自己表現を享受できるところに向け、テクノロジーと観念が共にシフトしつつある。奈義町でもこの流れに即したかたちでの体制の変化が肝要と考える。自然災害に限らず、こうしたウイルス災害に対しても強固な基盤づくりが、人口維持の観点からも大変重要と思うが、どうか。

**答弁 町長**

人が移動したことによる経済への影響は、町にとつても大変な重要な課題となっている。大きな疫病の流行後には、世の中が変わるとも言われている。それを見据えながら、まちづくりを進めていかなければならぬ。

今回の一件により、電子マネーの使用比重が増えてくるなどの価値観の変化が予想される。変わらないもの、これから変わっていくだろうことをしっかりと見きわめながら進めていきたい。

# Q 認定こども園 場所については見送りを



森藤 政憲 議員

## A 私の判断基準で提案している

質問 私が集めた「認定こども園についての緊急アンケート」には多くの回答があった。その結果は（6月18日現在。約2000枚配付、386枚回答）場所について説明が不充分が95・2%、6月議会で場所を決めるべきではないが87・6%となっている。この声をどう受け止め、対応しようとしているのか。

答弁 町長 議会には、この間、説明もを行い、土地を購入する予算も承認いただいている。早急に土地の取得と場所の確定を進めなければならぬ。説明はどこまで行っても十分だとはならないかもしれないが、判断をした。

質問 民主主義は手続き、プロセスが重要である。このプロセスをきちんとしないといけない。アンケートの結果をどう受け止めていられるのか。

答弁 町長 森藤議員が調査をされた事であり、アンケートについて、とやかく言ふことはない。

Q 屋根の上で花火の観覧などは理解が得られない  
A 花火の観覧は行つもりはない

質問 議会には、この間、説明もを行い、土地を購入する予算も承認いただいている。早急に土地の取得と場所の確定を進めなければならぬ。説明はどこまで行っても十分だとはならないかもしれないが、判断をした。

答弁 町長 議会には、この間、説明もを行い、土地を購入する予算も承認いただいている。早急に土地の取得と場所の確定を進めなければならぬ。説明はどこまで行っても十分だとはならないかもしれないが、判断をした。

質問 %となっている。この声をどう受け止め、対応しようとしているのか。

答弁 町長 議会には、この間、説明もを行い、土地を購入する予算も承認いただいている。早急に土地の取得と場所の確定を進めなければならぬ。説明はどこまで行っても十分だとはならないかもしれないが、判断をした。

質問 私が集めた「認定こども園についての緊急アンケート」には多くの回答があつた。その結果は（6月18日現在。約2000枚配付、386枚回答）場所について説明が不充分が95・2%、6月議会で場所を決めるべきではないが87・6%となっている。この声に正面から向き合い、6月議会では、結論を見送るべきだと思うがどうか。

質問 町民が理解、納得をして場所を決めるべきと言っている。しかし、充分説明を受けていない、今、場所を決めたらダメだと言われている。この声に正面から向き合い、6月議会では、結論を見送るべきだと思うがどうか。

質問 言葉が理解、納得をして場所を決めるべきと言っている。しかし、充分説明を受けていない、今、場所を決めたらダメだと言われている。この声に正面から向き合い、6月議会では、結論を見送るべきだと思うがどうか。

質問 言葉が理解、納得をして場所を決めるべきと言っている。しかし、充分説明を受けていない、今、場所を決めたらダメだと言われている。この声に正面から向き合い、6月議会では、結論を見送るべきだと思うがどうか。

質問 態度を変えないとの表明だ。これまでの町長であれば、（6月議会での決定は）見送ったと思う。これは、もうレッドカード、退場、と言わなければならない。

答弁 町長 レッドカードをすることになれば、覚悟をしなければならない、と思っている。

質問 新型コロナ対策の第1弾で、町民から、1300を超える署名が提出された。すなわち、ナギフトカードではなく、生活応援券との趣旨であった。これに誠実に対応したのか。

答弁 町長 署名については真摯に受け止め、第3弾（全町民へ1万円の給付）

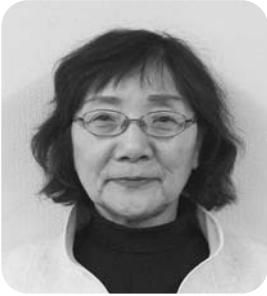
Q 1300の署名に応え、（応援）券の利用を  
A 真摯に受け止め、券と交換できる  
ようにした

質問 第2弾の中で、事業者応援給付金の給付が始まつたが、条件を緩和する事が必要ではないか。

答弁 町長 対象から漏れる業者もあるので、そういう業者が、沢山出ないよう制度を見直したい。



“ナギフトカードから券に交換しました”



## Q 不登校に本格的対策を

## A 新たな考え方や方法で取り組む

岡 立 議員

**質問** 奈義町での不登校の現状と、考え方について伺う。

**答弁 教育長** 不登校の定義については、年間30日以上欠席した長期欠席のうち、病気や経済的な理由によるものを除くものをいう。

昨年度、小学校では0人、中学校では3人であるが、その他にも、学校に来られない、または登校しにくい子ども達がいる。要因や理由は、複雑で多様化しているが、一人一人としっかりと寄り添い、解決に向けて努力を続けていかなければならないと考えている。

**質問** どのような対策をとっているか。

**答弁 教育長** 学級担任だけでなく、学校全体で対応している。欠席が目立ち始めた時点での遅刻、早退等の状況を一覧表にまとめ、情報共有しながら進めていく。今年度から小学校に登校支援員、別室指導員を配置し、最終的には学級に自分から通えるようにすることを目指している。



元気に登校する子どもたち

早期に適切な支援が行なえるよう努めている。

**質問**

不登校等については、

まず現状のきちんとした把握が大切だと思う。一覧表を作っていることだが、事前に、対策がとれるようなものが出来ているのか。

**答弁 教育長**

一覧表では、

理由もなるべく細かく聞いており、場合によっては、

**質問**

不登校はデリケート

な問題。というのは、これ

までには学校に行けない、行

かないのは悪い事だから隠

さなければならないという

考え方があった。その考

え方が悪いことでも

ないと変えていく必要もあ

ると思う。今後はパソコン

を使ってコミュニケーション

をとる等、新しい取り組

みにチャレンジしていく

い。

クリニックの先生とも相談をしている。小学校から中学校へもつないでいく事を

**質問**

不登校はデリケート

な問題。というのは、これ

までには学校に行けない、行

かないのは悪い事だから隠

さなければならないという

考え方があつた。その考

え方が悪いことでも

ないと変えていく必要もあ

ると思う。今後はパソコン

を使ってコミュニケーション

をとる等、新しい取り組

みにチャレンジしていく

い。

方を町全体で変えていかなければ不登校は無くならぬと思うが。

**答弁 教育長**

子どもたちには色々な人達と関わってもらいたいが、世の中の価値観も変わり、無理強いをする事はできない。登校で

きないことが悪いことでも

ないと変えていく必要もあると思う。今後はパソコン

を使つてコミュニケーション

をとる等、新しい取り組

みにチャレンジしていく

い。

**質問** 大人のひきこもりの現状と対策はしつかりと調査するところから始める

**質問** 全国では60万人とも言われている大人のひきこもり。きちんと把握できているか。

**答弁 町長** 実態に合わせた対策や支援が必要となるので、しっかりと調査が必要。今年度計画している。

## Q 新型コロナウイルスをきっかけとして 移住定住のチャンスと捉えるべきでは



小阪 四郎 議員

## A 都会からの移住ニーズを考えたまちづくりを行う

答弁 町長 ①本町への定住促進のチャンスと捉えるべきではないか。  
②分譲地を早くつくることが最優先事項だと思うが。  
③各地区にはそれぞれ、しきたり、慣習、申し合わせ、義務的な決まり事が数多くある。これらのことと調査したと聞いたが、小冊子にまとめて、移住定住予定者に配布して定住後のトラブル防止につなげたらと思うが。

現在、町内にある空家の利活用を優先して検討しており、改修が困難なもののは、更地にして分譲を考えている。

また、町有地を長期無償貸借することで若者定住に資する賃貸住宅を建設し、運営する民間事業者を公募型プロポーザル方式において募集を開始した。



文化を受け継ぐ（横仙歌舞伎）



新しい住まいのエリア（豊沢住宅跡地付近）

今後、この調査結果の情報の精度を高め、移住者相談会などで情報提供や転入時の地域への受け入れ態勢づくりの場面での活用など、移住者が安心して暮らすよう取り組む。

答弁 町長 ①都会からの移住ニーズへの対応という観点も考慮し、人口維持と町民が暮らしやすく永続で生きるまちづくりの取り組みを進めていきたい。  
②豊沢住宅跡地及びその周辺を活用し、新しい住まいのエリアの整備を考えていたが、現段階では難しい。ただく時点では、移住者の

質問 新型コロナウイルスの影響で、町、地区の行事が中止や延期になり、地域の魅力も失われてしまうのではないかと思うが。伝統や文化への中へ支えとなり、生き続けしていくものと考えている。今、本町に残されている文化の継承をしっかりと支援していく。



滝神社の浦安の舞



# Q コロナ禍の町に安心と希望を

# A 命を守り、経済の支援を 全力でする

# 中井 泰洋 議員

**質問** 新型コロナウイルス感染症拡大により発令されたいた非常事態宣言は解除されたが、気の抜けない状況が続いている。国の動きを待つのではなく、地域の実情を踏まえ、早目早目の支援を行ってほしい。

コロナウイルスの影響により不安の残る今、町民の皆さんのが奈義町に生きていくことに希望を抱けることが大切だ。町長が、町民とその生活を守るという強い姿勢を示すことが、安心と希望を与えることにつながると思う。町長の考えを伺う。

**答弁 町長** 今後予想される第2波、第3波の対応についても、しっかりと取り組み、大切な命を守り抜く。

今後も長期にわたり、コロナウイルス衛生対策、社会経済活動を維持させることになる。命を守り、経済活動の支援に全力で取り組む。



大好評のグルメ券

# こども園、中学校建設 調査特別委員会報告

6月15日、町長、副町長、教育長、関係課長出席のもと、委員会を開催した。付託された、議案第53号、奈義町立こども園に関する条例、議案第60号、こども園整備事業に係る土地売買契約の締結について、審査を行った。

条例の審査での主な論点は、場所について町民の理解が得られているか、この条例を、この定例会で結論を出すことは適切かどうかということだった。委員間討議では、保育園の状況を考えても、町民の希望としても、こども園はできるだけ早期に設置される必要があるという意見や、場所についてあるため、ここで場所について決定するべきであるといふと考へるため、ここで結論は出さず、意見を聞く機会をつくり、納得を得て進

土地売買契約の審査における主な質疑は、契約金額の単価や、今後の借地取得への影響について。答弁は、豊沢中央団地の金額を基準としている。他の借地についても同様にしなければならないと考えている、とのことだった。

討論の前に継続審査の申し出があったが、挙手少數で否決した。反対討論、賛成討論がそれぞれ行われた後、採決し、挙手多数により、委員会としては議案第53号、議案第60号、ともに、可決との結論に至った。



# 委員会報告

## 総務常任委員会報告

6月4日、町長、

副町長、教育長、各課長出席のもと委員会を開催し、所管事務の調査を行った。

## 認定こども園

る予定か。

答..1人1台なので、予備も含めて、約400台購入したい。

問..認定こども園の条件に、子育て支援事業を行うとなつているが中身は。

答..チャイルドホーム等との関係性もある。相談しやすい施設にしてほしい

との意見もあり、人員配

置、体制についてしっかりと検討する。

問..特別定額給付金事業は

6月3日現在、支給率が92・9%である。100%に近づける対策は。

答..社会福祉協議会に委託して各家庭を訪問している。自衛隊にも連絡をし

てほしい。

答..新型コロナウイルス感染症対策で、町の第3弾の対策はいつ頃か。

答..この6月議会の会期中に間に合えば第3弾の町の施策を示したい。

問..学校施設整備について、タブレットは何台購入す



大型特殊免許が必要

## 結婚推進事業

6月5日、町長、

副町長、担当課長、出納室長出席のもと、所管事務の調査を行った。

主な質疑は次の通り。

問..空家意向実態調査の結果は。

答..35件調査した中で管理ができない物件が24件、管理できている物件が5件。

問..空家等寄附受け事業で利用が難しそうな物件はどうするのか。

答..物件をよく見て、地区の方々や関係者とどのように連絡を取る。

問..鳥獣被害対策の電気柵・

メッシュの事業はどうなっているか。

答..昨年度、自衛隊員との見合いでは1組結婚に至っている。

問..30年度、元年度は、地区からの要望が無いので実績は無い。補助はある。

答..大型特殊免許取得補助事業で人数制限にもれた人がいる。2次募集を考えてほしい。

答..合格率も踏まえて今後について検討する必要がある。

## まちづくり常任委員会報告

### 編集後記

うな利用ができるのか考えながら寄附を受け、使えそうにない空家は更地にして有効活用するなど検討したい。

停滞している経済の立て直しには相当な時間がかかるものと思われます。政府も、奈義町もいろいろな支援策を提供していますので、ぜひ活用してください。

小・中学校もコロナウイルスの影響で、授業や行事に苦労されている様です。町の行事の夏まつり、市民運動会、農林業祭は中止になり、東京オリンピックも来年に延期となり、淋しいことですか。1日も早く平穀な生活が送れることを願うばかりです。（鷹取）

【編集委員】  
議長 岡定森  
委員 原鷹取  
委員長 小阪中井  
副委員長 中井泰洋郎  
親佐伸介  
親佐伸介  
親佐伸介  
親佐伸介  
親佐伸介